

平成22年度 第一回 田辺市文化財審議会 議事録

日時:平成22年5月25日(火)午前10時00分～

場所:田辺市役所 4階 第1委員会室

出席者:委員 18名

事務局 中村教育長 平田文化振興課長

文化財係 中川係長 児玉企画員 坂本主査 堀主査

教育事務所 鈴木龍神教育事務所長 岩本大塔教育事務所長 切本中辺路教育事務所長

欠席者:浅里委員、岸委員、桑原委員、小谷委員、谷上委員、坂本(干)委員

1.開 会

2.教育委員会あいさつ(中村教育長)

3.新任委員の紹介(藤五委員、原委員)

4.議 事

平成21年度の文化財事業・歴史民俗資料館事業を報告。

(意見)特になし

平成22年度の事業計画を報告。

(意見) 神島の森の衰微状況について、報告したい。現在、テグスを張ってウを近付けさせない対策を行なっているが、その効果は不明である。全体としての自然環境保護には、どのような策が可能か、いま検討中である。よい知恵があれば、教えて頂きたい。

オオダイガハラサンショウウオ生息地の市指定について

(報告) 和歌山県が現在、詳細調査・環境整備の作業を行なっています。まず、田辺市において生息地を指定し、保存を図りたいと思います。

(意見)他の市町での指定については、どういう状況なのか。

(意見)本来、旧の大塔村での指定について、和歌山県と協議していた事例なのだが、合併により田辺市となったので、これを提案させて頂くことになった。

他の意見を求めるが、特になかったため、答申について諮ったところ、賛成者多数であった。

よって、市指定とする答申を決定する。

その他

(報告)神島の状況について、先ほども意見が出されましたが、現状を資料にしています。

現在の状況としては、ウの糞の被害は見られず、また樹木は若葉を広げつつあります。

また、今年3月16日付けで県指定文化財への追加が田辺市関係では4件あり、結果、田辺地域の指定文化財は全部で197件になりました。

(意見)中辺路・大塔地域において、鎌倉期以前の仏像で未指定のものがあるようだが、どのような対策を考えているのか。

(回答)現在、和歌山県が世界遺産周辺での未指定文化財について、関係市町へリストを作成するよう、依頼が来ているので、これに対応してリストアップの努力を続けていきたいと思えます。

5.閉会